



工業団地化が決まり、移転地確保が急がれる比江山グラウンド

## 国府地区市政懇談会

### グラウンドの代替地 早急に確保を

国府地区でも十一月六日夜、地区公民館(義常美館長)に地元住民約二十人が集まり、市政懇談会が開かれました。市からは小笠原市長らが出席し、前もつて各地区でまとめた質問や要望に基づき、一時間にわたり話し合いました。

#### 討議内容は

まず、市長が「比江山の処分について、地元の皆さんの理解と協力をいたさり感謝している。市政の柱として、財政再建、同和対策、空港問題の三つをあげ取り組んできたが、空港はほぼ完成し、新たに立地条件を生かした企業誘致と教育施設の充実を加え進めている。今日は、市政について理解していただくよい機会であり、きたんのない意見をお願いしたい」とあいさつし、話し合いに入りました。

○比江山の工業団地化が進んでいるようだが、グラウンドの代替地の確保に、早い対応をお願いしたい。

○工業団地の開発について、地元の皆さんには大変お世話になり感謝している。ミロク機械に売却を予定している場所は、グラウンドの南の現在スバルの配車センターに貸してあるところだ。そのため、

### グラウンドの代替地

#### 早急に確保を

移動してもらわなければならないが、すぐともいかないので、暫定的にグラウンドに移つてもらうような計画もしている。

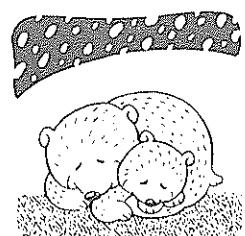
現在、グラウンドの代替地として比江をあたたっている。しかし、そこは文化財保護地なので、まず調査が必要であり、県教委の文化振興課とも協議をしてている。予定としては、来年四月以降試掘調査をしたい。今、地権者の協力を願えるよう話を進めている。

○国分小学校の体育館の改革を早くしてほしい。建築する場合は社会体育にも役立てるものを。

○小学校で体育館がない学校が三校、老朽化が進んでいるのが二校ある。その一つに国府小も入っている。六十一年度は無理だが、六十二年度には改革したい。当然、社会体育にも利用できるものをと考えている。

○市内には、寝たきり老人が何人おり、その福祉対策を伺いたい。

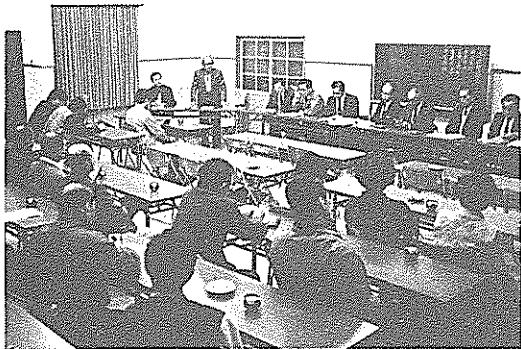
○移動入浴車の利用状況はどうか。寝たきり老人は七十六人で、うち男性四十八人、女性二十八人となっている。特に介護が必要とする方には、四人のホームヘルパーがお世話している。そのほか、エアマット、ベッド、ボーダブルトイレスなどの給付事業も行っている。家庭で看護している人で、どうしても家を空けなければならない



## 長岡東部地区 市政懇談会

### 転作作物の再検討を

#### 長岡小改築は4~5年後



市政全般について幅広く話し合った市政懇談会

#### 討議内容は

○転作作物としてそば、牧草を作つても別に合わない。牧草は酪農家との契約が条件となっており、討議に入りました。

○転作作物としてそば、牧草を作つても別に合わない。牧草は酪農家との契約が条件となっており、討議に入りました。

○転作作物としてそば、牧草を作つても別に合わない。牧草は酪農

知る機会として、今日は有意義な会としてほしい」とあいさつ。統いて市長が、市政全般について報告し、討議に入りました。

まず、藤中公民館長が「市政を会としてほしい」とあいさつ。統いて市長が、市政全般について報告し、討議に入りました。

まず、藤中公民館長が「市政を

会としてほしい」とあいさつ。統

いて市長が、市政全般について報

告し、討議に入りました。

まず、藤中公民館長が「市政を